２０２５年度（令和７年度）　町田市立南中学校　社会科地理　２年　年間指導計画及び評価基準

使用教科書：社会科　中学生の地理（帝国書院）　　年間授業時数：６０時間

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準
6	第３部　日本のさまざまな地域 第１章　身近な地域の調査	3	○観察や野外調査，文献調査を行う際の視点や方法，地理的なまとめ方の基礎を理解させる。 ○地形図や主題図の読図，目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付させる。 ○地域調査において，対象となる場所の特徴などに着目させ，適切な主題や調査，まとめとなるように，調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察，表現させる。 ○地域調査の手法について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	○身近な地域の情報を集めて，それを基に適切な調査テーマを設定する。 ○身近な地域の調査テーマに基づいて，見通しをもって調査方法・調査計画を立て，主体的に追究する。 ○地形図について，縮尺，方位，等高線，地図記号などに着目して，地域の土地利用や地形を大観する。 ○新旧の地形図を比較して地域の変化を読み取る。 ○野外観察や聞き取り調査を通して，地域調査の手法を理解するとともに，地域の特色を捉える。 ○調査テーマに対して文献，統計，地図，写真などの資料を収集する方法を理解するとともに，地域の特色を捉える。 ○収集した資料を，調査目的や用途に適した地図や図表として適切にまとめる。（ICT） ○まとめられた資料を基に，身近な地域の調査テーマに対して多面的・多角的に考察する。 ○調査の動機と目的，調査方法と調査結果など，これまで学習してきた成果を分かりやすく発表する。（ICT） ○他のグループの発表を通して新たな情報を収集し，調査テーマを主体的に追究する。	知識・技能 ○観察や野外調査，文献調査を行う際の視点や方法，地理的なまとめ方の基礎を理解している。 ○地形図や主題図の読図，目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けている。 思考・判断・表現 ○地域調査において，対象となる場所の特徴などに着目して，適切な主題や調査，まとめとなるように，調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し，表現している。 主体的に学習に取り組む態度 ○地域調査の手法について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
6	第２章　日本の地域的特色	12	○日本の地形や気候の特色，海洋に囲まれた日本の国土の特色，自然災害と防災への取り組みなどを基に，日本の①自然環境に関する特色を理解させる。 ○少子高齢化の課題，国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に，日本の②人口に関する特色を理解させる。 ○日本の資源・エネルギー利用の現状，国内の産業の動向，環境やエネルギーに関する課題などを基に，日本の③資源・エネルギーと産業に関する特色を理解させる。 ○国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況，これを活用した陸上，海上輸送などの物流や人の往来などを基に，国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解させる。 ○①自然環境，②人口，③資源・エネルギーと産業，④交通・通信に基づく地域区分を踏	○日本のさまざまな地域的特色を，地域と分布に着目しながら，大きく捉える。 ○日本は変動帯に属して，地震や火山の多い不安定な大地上に位置していること，フォッサマグナを境にして，山脈の走る方向が違うことなどを資料から読み取る。 ○日本の川は，大陸と比べて急で短く，洪水を引き起こしやすいため，上流ではダムが建設されている地域が多いことを理解する。 ○日本には，河川などに運ばれた土砂で形成された規模の小さな平野が臨海部に，また山に囲まれた地域には盆地などが各地に分布していることを分布図などから読み取る。 ○日本の国土は海に囲まれ，多くの島々から構成されるとともに多様な海岸が見られること，近海には海底に大陸棚が広がり，寒暖の海流が出合い世界的な漁場となっていることを理解する。 ○日本の地域的特色を，山地・山脈，河川，平地，海，災害などの分布に着目して，これらを関連付けて多面的・多角的に考察し，表現する。 ○日本の多くの地域は温帯に属し，降水量も多く，森林，樹木が成長しやすい環境にあることを雨温図や景観写真などから読み取る。 ○日本列島にはなぜ六つの気候が存在するのかを，日本の山地，山脈の分布等に着目して考察できるようにする。（ICT） ○日本は大規模な地震や津波，台風など多様な自然災害が発生しやすい地域が多く，早くから，防災設備の充実，ハザードマップの作製など防災，減災対策に努めてきたことに気付く。 ○国や地方公共団体の諸機関や担当部局，地域の人々やボランティアが連携して地域の人々の生命や安全の確保のために活動していることを読み取り，日本の防災対策を理解する。	知識・技能 ○日本の地形や気候の特色，海洋に囲まれた日本の国土の特色，自然災害と防災への取り組みなどを基に，日本の①自然環境に関する特色を理解している。 ○少子高齢化の課題，国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に，日本の②人口に関する特色を理解している。 ○日本の資源・エネルギー利用の現状，国内の産業の動向，環境やエネルギーに関する課題などを基に，日本の③資源・エネルギーと産業に関する特色を理解している。 ○国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況，これを活用した陸上，海上輸送などの物流や人の往来などを基に，国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解している。 ○①自然環境，②人口，③資源・エネルギーと産業，④交通・通信に基づく地域区分を踏まえ，日本の国土の特色を大観し理解している。 ○日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に，地域区分をする技能を身に付けている。 思考・判断・表現

			まえ，日本の国土の特色を大観させ，理解させる。 ○日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に，地域区分をする技能を身に付けさせる。 ○①自然環境，②人口，③資源・エネルギーと産業，④交通・通信について，それぞれの地域区分を，地域の共通点や差異，分布などに着目させて，多面的・多角的に考察し，表現させる。 ○日本の地域的特色を，①自然環境，②人口，③資源・エネルギーと産業，④交通・通信に基づく地域区分などに着目させ，それらを関連付けて多面的・多角的に考察，表現させる。 ○日本の地域的特色と地域区分について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	○人口の移り変わりを示す資料や人口ピラミッドの変化，人口分布に着目して，少子高齢化，過疎，過密といった日本の課題を読み取る。 ○日本のエネルギー自給率や発電量の内訳を示す資料などから，日本の抱えている課題とその対策について多面的・多角的に理解する。 ○環境，エネルギー問題に対処するために，再生可能エネルギーの開発やリサイクルなどの努力をしていることを理解する。 ○日本の農業，工業が抱える課題について食料自給率や主な工業地帯，地域の分布図から読み取る。 ○日本の第三次産業の盛んな地域について，その背景を考察する。 ○輸送手段に違いが見られる原因を，輸送距離，時間，地域性などに着目して考察する。 ○新幹線，高速道路，航路，航空路網，情報通信網などの整備が進んでおり，日本は海外と空や海の交通網，そして通信網が集中する拠点の一つに数えられていることを理解する。 日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に，地域区分の事例を学び，地域区分をする技能を身に付ける。 ○①自然環境，②人口，③資源・エネルギーと産業，④交通・通信について，それぞれの地域区分を，地域の共通点や差異，分布などに着目して，多面的・多角的に考察し，表現する。 ○「まとめの活動」を通してこれまでの学習を振り返り，①自然環境，②人口，③資源・エネルギーと産業，④交通・通信に基づく地域区分を踏まえ，日本の国土の特色を大観し，理解する。	○①自然環境，②人口，③資源・エネルギーと産業，④交通・通信について，それぞれの地域区分を，地域の共通点や差異，分布などに着目して，多面的・多角的に考察し，表現している。 ○日本の地域的特色を，①自然環境，②人口，③資源・エネルギーと産業，④交通・通信に基づく地域区分などに着目して，それらを関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 **主体的に学習に取り組む態度** ○日本の地域的特色と地域区分について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
9	第 3 章　日本の諸地域 1 節　九州地方	6	○九州地方について，その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ○①自然環境を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解させる。 ○九州地方において，①自然環境の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目させ，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察，表現させる。 ○九州地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	○九州地方について，地形図や雨温図，分布図などの資料から概観し，基礎的・基本的な知識を身に付ける。 ○九州地方に多い火山の噴火による被害とその対策に着目し，人々が火山とともに生活していることを理解する。 ○九州地方に多い豪雨による土砂崩れと水害について，自然環境の特色と関連付けて考察する。 ○九州地方に多い火山に着目し，災害を与える一方で恵みももたらしていることを理解する。 ○九州地方の産業が各地の自然条件に応じて発達してきたことを理解する。 ○九州地方の工業の発展で起きた環境問題とその対策の過程について，具体的な資料を通して理解する。 ○九州地方の各地で行われている持続可能な社会を実現するための取り組みについて，環境と開発の両立の視点から考察する。 ○自然環境を中核とした考察の仕方で取り上げた九州地方の地域的特色とそこで生ずる課題を「まとめの活動」を通して振り返り，これらを理解する。 ○九州地方の自然環境とそこで暮らす人々の生活の成立条件を地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，九州地方では，自然環境の影響を受けつつ，産業や生活・文化が発達してきた理由を多面的・多角的に考察する。（ICT） ○よりよい社会の実現を視野に，九州地方の学習内容を振り返って探究課題を主体的に追究する。	**知識・技能** ○九州地方について，その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○①自然環境を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解している。 **思考・判断・表現** ○九州地方において，①自然環境の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 **主体的に学習に取り組む態度** ○九州地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	

	2節　中国・四国地方	6	○中国・四国地方について，その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ○④交通・通信を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解させる。 ○中国・四国地方において，④交通・通信の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目させ，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察，表現させる。 ○中国・四国地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	○中国・四国地方について，人口分布図や統計グラフなどの資料から概観し，基礎的・基本的な知識を身に付ける。 ○中国・四国地方の交通網の整備について，地図，写真，統計などの具体的な資料を通して，理解する。 ○中国・四国地方の人口が瀬戸内の県に集中していることに着目し，その歴史的・地理的背景について理解する。 ○中国・四国地方の産業が交通網の発達とともに成長してきたことを理解する。 ○中国・四国地方の市町村別人口増減率の地図に着目し，過疎地域の分布の特色を理解する。 ○過疎地域が行っている町おこし・村おこしの成果と課題について，特色ある観光資源や交通・通信網の活用などの視点から考察する。 ○交通・通信を中核とした考察の仕方で取り上げた中国・四国地方の地域的特色とそこで生ずる課題を「まとめの活動」を通して振り返り，これらを理解する。 ○中国・四国地方の交通・通信の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，中国・四国地方で交通・通信網が重要な役割を果たしている理由を多面的・多角的に考察する。（ICT） ○よりよい社会の実現を視野に，中国・四国地方の学習内容を振り返って探究課題を主体的に追究する。	**知識・技能** ○中国・四国地方について，その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○④交通・通信を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解している。 **思考・判断・表現** ○中国・四国地方において，④交通・通信の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 **主体的に学習に取り組む態度** ○中国・四国地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	3節　近畿地方	6	○近畿地方について，その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ○②人口や都市・村落を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解させる。 ○近畿地方において，②人口や都市・村落の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目させ，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察，表現させる。 ○近畿地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	○近畿地方について，地形図や人口分布図などの資料から概観し，基礎的・基本的な知識を身に付ける。 ○近畿地方の大都市圏の成り立ちについて，地図や写真などの資料を通して，理解する。 ○大阪湾臨海部の工業の特色を捉え，大都市における工業の課題について考察する。 ○近畿地方の都市の発展や，開発とその課題について，地図や写真などを使って理解する。 ○近畿地方の古都などに見られる伝統的な文化，歴史的な景観の保存と開発について，調和という視点から考察する。 ○近畿地方の市町村別人口増減率の地図に着目し，過疎地域の分布の特色を理解する。 ○過疎地域が行っている町おこし・村おこしの成果と課題について，特色ある産業や景観，都市部との交流などの視点から考察する。 ○人口や都市・村落を中核とした考察の仕方で取り上げた近畿地方の地域的特色とそこで生ずる課題を「まとめの活動」を通して振り返り，これらを理解する。 ○近畿地方の人口や都市・村落とその成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，近畿地方で都市や農村の姿が変化してきた理由を多面的・多角的に考察する。（ICT） ○よりよい社会の実現を視野に，近畿地方の学習内容を振り返って，探究課題を主体的に追究する。	**知識・技能** ○近畿地方について，その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○②人口や都市・村落を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解している。 **思考・判断・表現** ○近畿地方において，②人口や都市・村落の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 **主体的に学習に取り組む態度** ○近畿地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
1	4節　中部地方	6	○中部地方について，その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ○③産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解させる。	○中部地方について，地形図や統計グラフなどの資料から概観し，基礎的・基本的な知識を身に付ける。 ○東海で発展した世界をリードする各種の工業について，その変容と国際化にともなう課題の視点から考察する。	**知識・技能** ○中部地方について，その地域的特色や地域の課題を理解している。	

			○中部地方において，③産業の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目させ，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察，表現させる。 ○中部地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	○東海で盛んな農業に関する具体的な資料を通して，各地の自然条件と社会的条件に応じて発達してきたことを理解する。 ○中央高地で盛んな農業や工業に関する具体的な資料を通して，各地の自然条件と社会的条件に応じて発達してきたことを理解する。 ○中央高地にある歴史的な家屋や街並みに着目し，観光業を中心とした地域づくりをしていることを理解する。 ○北陸で盛んな農業や工業に関する具体的な資料を通して，各地の自然条件と社会的条件に応じて発達してきたことを理解する。 ○北陸の伝統産業や地場産業について，自然条件や歴史的背景などの視点から考察する。 ○産業を中核とした考察の仕方で取り上げた中部地方の地域的特色とそこで生ずる課題を「まとめの活動」を通して振り返り，これらを理解する。 ○中部地方の産業とその成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，中部地方で個性的な産業が発達している理由を多面的・多角的に考察する。（ICT） ○よりよい社会の実現を視野に，中部地方の学習内容を振り返って，探究課題を主体的に追究する。	○③産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解している。 思考・判断・表現 ○中部地方において，③産業の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 主体的に学習に取り組む態度 ○中部地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	5節　関東地方	6	○関東地方について，その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ○④交通・通信を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解させる。 ○関東地方において，④交通・通信の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目させ，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察，表現させる。 ○関東地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	○関東地方について，人口分布図や統計グラフなどの資料から概観し，基礎的・基本的な知識を身に付ける。 ○東京にさまざまな機能が集中し，日本や世界各地との結び付きが強いことを理解する。 ○東京大都市圏における都心部と郊外の人口動態に着目し，その結び付きと課題について考察する。 ○東京大都市圏の交通網と観光産業の関連について理解する。 ○関東地方の工業の特色を，臨海部と内陸部の結び付きに着目しながら理解する。 ○関東地方で農業が盛んな理由を，大消費地との結び付きと関連付けて考察する。 ○交通・通信を中核とした考察の仕方で取り上げた関東地方の地域的特色とそこで生ずる課題を「まとめの活動」を通して振り返り，これらを理解する。 ○関東地方の交通・通信の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，関東地方で他の地域と強い結び付きが見られる理由について多面的・多角的に考察する。（ICT） ○よりよい社会の実現を視野に，関東地方の学習内容を振り返って探究課題を主体的に追究する。	知識・技能 ○関東地方について，その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○④交通・通信を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解している。 思考・判断・表現 ○関東地方において，④交通・通信の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 主体的に学習に取り組む態度 ○関東地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	6節　東北地方	6	○東北地方について，その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ○⑤その他（生活・文化）を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解させる。 ○東北地方において，⑤その他（生活・文化）の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目させ，他の	○東北地方について，地形図や，写真などの資料から概観し，基礎的・基本的な知識を身に付ける。 ○東北地方の生活・文化について，伝統的な民俗行事の資料を通して理解する。 ○東北地方の伝統行事や習慣を通して，自然環境や歴史的背景，産業などの地域的特色を理解する。 ○東北地方の伝統産業や地場産業の特色について，自然環境との結び付きから理解する。 ○伝統的な産業が，世界市場や社会の変化と結び付きながら変化し，発展していることを考察する。 ○東北地方でくり返されてきた地震や津波の被害に着目し，被災した人々が残した教訓について理解している。 ○東北地方の生活・文化と不可分な災害の歴史と教訓を通して，先人の思いや今後の社会の在り方について考察する。	知識・技能 ○東北地方について，その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○⑤その他（生活・文化）を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解している。 思考・判断・表現 ○東北地方において，⑤その他（生活・文化）の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着	

			事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察，表現させる。 ○東北地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	○生活・文化を中核とした考察の仕方で取り上げた東北地方の地域的特色とそこで生ずる課題を「まとめの活動」を通して振り返り，これらを理解する。 ○東北地方の生活・文化の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，東北地方で伝統的な生活・文化が守られ，継承されてきた理由を多面的・多角的に考察する。（ICT） ○よりよい社会の実現を視野に，東北地方の学習内容を振り返って探究課題を主体的に追究する。	目して，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 **主体的に学習に取り組む態度** ○東北地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	7節　北海道地方	6	○北海道地方について，その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ○①自然環境を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解させる。 ○北海道地方において，①自然環境の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目させ，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察，表現させる。 ○北海道地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	○北海道地方について，地形図，雨温図などの資料から概観し，基礎的・基本的な知識を身に付ける。 ○北海道の厳しい自然環境とそれに対する生活の工夫について，景観写真や模式図などの読み取りを通して理解する。 ○北海道の人々が自然環境をどのように活用しているのか，気候，火山や漁業などの視点から考察する。 ○今後の北海道地方の農業の在り方について，国際競争と地産地消の視点から考察する。 ○北海道地方の観光業に着目し，冷涼な気候は各地から観光客をひきつけていることを理解する。 ○北海道地方の観光客の増加について，地域の発展と環境保全の視点から考察する。 ○自然環境を中核とした考察の仕方で取り上げた北海道地方の地域的特色とそこで生ずる課題を「まとめの活動」を通して振り返り，これらを理解する。 ○北海道地方の自然環境とそこで暮らす人々の生活の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，北海道地方でたくさんの農作物を出荷したり，観光客をひき付けたりしている理由を多面的・多角的に考察する。（ICT） ○よりよい社会の実現を視野に，北海道地方の学習内容を振り返って探究課題を主体的に追究する。	**知識・技能** ○北海道地方について，その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○①自然環境を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解している。 **思考・判断・表現** ○北海道地方において，①自然環境の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 **主体的に学習に取り組む態度** ○北海道地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	第４部　地域の在り方	3	○地域の実態や課題解決のための取り組みを理解させる。 ○地域的な課題の解決に向けて考察，構想したことを適切に説明，議論しまとめる手法について理解させる。 ○地域の在り方を，地域の結び付きや地域の変容，持続可能性などに着目し，そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察，構想，表現させる。 ○地域の在り方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を身に付けさせる。	○身近な地域の課題を見つけ，「世界や日本のさまざまな地域」に見られた課題と比較し，見通しをもって主体的に追究する。 ○身近な地域の課題が，どこでどのように起こっているかを，位置や分布に注目して捉える。 ○身近な地域の課題が，どのような経緯で起こってきたかを，地域の移り変わりに注目して多面的・多角的に考察する。 ○地域の課題の要因やその影響について，地域内外の結び付きや地域の変容に着目し，考察する。 ○身近な地域の課題の解決策を，類似の課題が見られる他地域との比較，関連付けを通して理解する。 ○地域に見られる課題の解決に向けて考察，構想したことを整理し，地図や図表，プレゼンテーションソフトや企画書などにまとめて発表する。（ICT） ○地域の在り方を，地域の結び付きや地域の変容，持続可能性などに着目し，そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察，構想し，具体的な解決策として表現する ○地域の在り方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	**知識・技能** ○地域の実態や課題解決のための取り組みを理解している。 ○地域的な課題の解決に向けて考察，構想したことを適切に説明，議論しまとめる手法について理解している。 **思考・判断・表現** ○地域の在り方を，地域の結び付きや地域の変容，持続可能性などに着目し，そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 **主体的に学習に取り組む態度** ○地域の在り方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	

２０２５年度（令和７年度）　町田市立南中学校　社会科歴史　２年　年間指導計画及び評価基準

使用教科書：社会科　中学生の歴史（帝国書院）　　年間授業時数：４５時間

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準 ①＝知識・技能　②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
4	第３章　近世　武家政権の展開と世界の動き 第３節　武士による全国支配の完成 １ 幕藩体制の始まり ２ 朱印船貿易から貿易統制へ ３ 四つに絞られた貿易の窓口 ４ 琉球王国とアイヌの人々への支配	4	①江戸幕府の支配の下に大きな戦乱のない時期を迎えたことなど，中世から近世への転換のようすを，中世の武家政治との違いに着目して考察させ，自分の言葉で表現させる。 ②江戸幕府の成立と大名統制については，幕府が大名を統制するとともに，その領内の政治の責任を大名に負わせたことに気づかせる。	○江戸幕府は大名や朝廷を統制するために，どのようなしくみをつくったのか，文章や資料から読み取る。 ○江戸幕府の外交・貿易政策は，国内政策との関係で，どのように変化したのか，年表などから読み取ったり考えたりする。 ○幕府は，窓口を通して世界とどのようにつながっていたのか，地図でそれぞれの窓口を確認しながらまとめる。 ○琉球王国とアイヌの人々は，薩摩藩や松前藩とどのような関係にあったのか，絵画資料などから読み取り，江戸時代になってどのように変化したのかを説明する。 ○江戸幕府が行った国内と国外の政策をそれぞれ確認させる。	①江戸幕府の成立と大名統制，鎖国などの幕府の対外政策と対外関係をもとに，幕府と藩による支配が確立したことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②統一政権の諸政策の目的に着目して，江戸幕府により全国を支配するしくみが作られ，安定した社会が構築されたことを考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③江戸幕府の成立と対外関係について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
6	第４節　天下泰平の世の中 １　タイムトラベル⑧ 　江戸時代を眺めてみよう ２ 身分制の下での暮らし ３ 安定する社会と諸産業の発達 ４ 各地を結ぶ陸の道・海の道 ５ 上方で栄えた町人の元禄文化 ６　節の問いを振り返ろう	6	①身分制のもとで，人々はそれぞれの身分の中で職分を果たしたこと，農村が幕府や藩の経済を支えていたことなどに気づかせる。 ②農林水産業や手工業，商業などの産業や河川・海上交通，街道が発達したことについて，身近な地域の特徴を生かした事例を選んで理解させる。 ③藩校や寺子屋などの普及に着目して，人々の教育への関心の高まりに気づかせるとともに，学問・芸術・芸能などの地域的な広まりに着目して，文化の社会的な基盤が拡大したことを理解させる。 ④近世の文化について，大阪・京都・江戸などの都市を舞台に，経済力を高めた町人を担い手とする文化が形成されたことなどを理解させる。	○江戸時代のある街道沿いの農村のようすをえがいた想像図を見て，安土桃山時代と比べて，どのような点が変化し，どのような共通点があったのかを読み取り，疑問があれば追究すべき課題（生徒自身の「単元を貫く問い」）を設定する。 ○江戸時代の人々は，身分制社会の下でどのような暮らしをしていたのか，文章や資料などから読み取ってまとめる。 ○江戸時代の国内産業は，どのように発達していったのか，絵画資料や地図などから読み取ってまとめる。 ○交通網の整備は，都市や産業の発達にどのような影響を与えたのか，三都を中心とした都市の成長などをふまえながら考える。 ○江戸時代前半にはどのような特色をもった文化が展開したのか，文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。 ○産業の発達と都市の繁栄が与えた影響を確認させる。	①身分制と農村のようすをもとに，幕府と藩による支配が確立したこと，産業や交通の発達，教育の普及と文化の広がりをもとに，町人文化が都市を中心に形成されたことや，各地方の生活文化が生まれたことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②統一政権の諸政策の目的に着目して，江戸幕府により全国を支配するしくみが作られ，都市や農村における生活や変化し，安定した社会が構築されたことを考察したり，産業の発達と文化の担い手の変化に着目して，都市を中心とした経済が形成されていく中で，日本の文化の空間的な広がりが生み出され，それを背景として各地方の生活文化が生まれたことや，生産技術の向上や交通の整備と町人文化の特徴を考察したりするなど，事象を相互に関連付けるなどして，近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③産業の発達と町人文化などについて，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
9	第５節　社会の変化と幕府の対策 １ 貨幣経済の広まり ２ 繰り返される要求と改革	5	①貨幣経済の農村への広がりや自然災害などによる都市や農村の変化などをふまえ，近世社会の基礎が動揺していったことに気づかせる。 ②外国船の接近とそれに対応した幕府による北方の調査や打払令などを取り上げる。	○徳川吉宗はどのような改革を行ったのか，また，貨幣を使う機会が増え，農村ではどのような変化があったのか，文章やグラフなどの資料から読み取ったり，考えたりする。 ○百姓の要求と財政難に対して，幕府はどのような対応を行ったのか，田沼意次と松平定信の政策のちがいに着目させて，表にまとめる。	①社会の変動や欧米諸国の接近，幕府の政治改革，新しい学問・思想の動きなどをもとに，幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。

	3 江戸の庶民が担った化政文化 4　節の問いを振り返ろう 5　章の学習を振り返ろう		③財政の悪化などを背景とした幕府の政治改革を取り上げ，百姓一揆などに結びつく農村の変化や商業の発達などへの対応というねらいがあったことに気づかせる。 ④蘭学や国学などの中に新しい時代を切り開く動きがみられたことに気づかせる。	○江戸時代後半には，どのような特色をもった文化が展開したのか，文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。 ○幕府の改革はどのような内容だったか，確認させる。 ○全国を統一するために織田・豊臣・江戸幕府が行った政策で共通する点に着目し，安定した政権が成立するために必要なことを考えて発表し，意見交換を行う。 ○近世とはどのような時代か，自分の言葉で表現したり，意見交換を行ったりする。	②社会の変化と幕府の政策の変化に着目して，貨幣経済が農村に広がる中で経済的な格差が生み出され，それらの背景として百姓一揆がおこったことや，社会や経済の変化への対応としての諸改革の展開を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③幕府政治の展開について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	第４章　近代（前半）　近代国家の歩みと国際社会 第１節　欧米諸国における「近代化」 1 市民革命の始まり 2 人権思想からフランス革命へ 3 産業革命と資本主義の成立 4 欧米諸国の近代国家建設 5 世界進出を目指す欧米諸国 6　節の問いを振り返ろう	6	①政治体制の変化や人権思想の発達や広がり，現代の政治とのつながりなどと関連づけて，アメリカの独立やフランス革命を取り上げ，政治的な対立と社会の混乱，そこで生じた犠牲などを経て近代民主政治への動きが生まれたことに気づかせる。 ②工業化による社会の変化という観点から，イギリスなどにおける産業革命を取りあげ，資本主義社会が成立したことや労働問題・社会問題が発生したことに気づかせる。 ③産業革命の進展にともなって，欧米諸国が新たな工業製品の市場や工業原料の供給地を求めてアジアへの進出を強めたことを理解させる。	○イギリスでの革命や，アメリカの独立戦争によって成立した政治体制とはどのようなものか，資料などから読み取り，表にまとめる。 ○フランス革命によって，社会はどのように変化したのか，啓蒙思想を示す資料や『人権宣言』などから読み取る。 ○産業革命によって，社会はどのように変化し，またどのような考え方が生まれたのか，絵画資料などをもとに読み取る。 ○産業革命やフランス革命の影響を受けて，アメリカやドイツ，ロシアではどのような国づくりが行われたか，地図や絵画資料などをもとに読み取る。 ○欧米諸国は，どのようにして世界へ進出したいったのか，イギリスとインドなどの関係を事例として，地図や資料から読み取ったり考えたりする。 ○市民革命と産業革命による社会の変化，市場や植民地を求めての世界進出に着目して考えさせる。	①欧米諸国における市民革命や産業革命をもとに，欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへの進出したことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②工業化の進展と政治や社会の変化に着目して，近代化の進展により欧米諸国の政治や社会がどのように変化したかを考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③欧米における近代社会の成立について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
11	第２節　開国と幕府の終わり 1 日本を取り巻く世界情勢の変化 2 諸藩の改革と幕府の衰退 3 黒船来航の衝撃と開国 4 江戸幕府の滅亡 5　節の問いを振り返ろう	5	①欧米諸国のアジア進出と関連づけて取り扱い，アヘン戦争後に幕府が対外政策を転換して開国したことと，その政治的および社会的な影響を理解させ，それが明治維新の動きを生み出したことに気づかせる。	○世界情勢の変化は，江戸時代の日本にどのような影響を与えたのか，外国船の来航と幕府の対応，アヘン戦争とその影響などを法令や地図などの資料をもとに考える。 ○飢きんや財政の悪化に対して，諸藩や幕府は，どのような改革を行ったのか，資料などから読み取り，表などにまとめる。 ○ペリーらの来航により，日本ではどのような変化が起こったのか，資料などから読み取り，経緯を流れ図にまとめる。 ○武士による政治は，どのように終わりを迎えたのか，戊辰戦争にいたるまでの経緯を資料などから読み取り，流れ図や年表にまとめる。 ○工場制手工業，諸藩の改革，アヘン戦争前後から開国にいたるまでの動きと幕府の権威の低下に着目して考えさせる。	①欧米諸国のアジア進出による中国の動き，日本の開国と貿易の開始による政治的，経済的，社会的な影響を理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②工業化の進展と政治や社会の変化に着目して，欧米諸国の市場や原料供給地を求めたアジアへの進出が，日本の政治や社会に与えた影響を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動きについて，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
12	第３節　明治政府による「近代化」の始まり 1　タイムトラベル⑨ 明治時代を眺めてみよう 2　新政府による改革 3　富国強兵を目指して 4　文明開化と新政府の政策	5	①明治維新について，複雑な国際情勢の中で独立を保ち，近代国家を形成していった政府や人々の努力に気づかせる。 ②富国強兵・殖産興業政策の下に新政府が行った，廃藩置県，学制・兵制・税制の改革，身分制度の廃止，領土の画定を取りあげ，学制など今日につながる諸制度がつくられたことや，身	○明治時代のある地方都市のようすをえがいた想像図を見て，江戸時代と比べて，どのような点が変化し，どのような共通点があったのかを読み取り，疑問があれば追究すべき課題（生徒自身の「単元を貫く問い」）を設定する。 ○明治維新とは，どのような改革・変化だったのか，新政府がどのような国家をめざしたのかを資料などを読み取りながら考える。 ○日本を欧米諸国に劣らない強い国にするために，どのような政策が行われたのか，新政府が行った殖産興業政策，兵制・税制の改革を中心に資料などから読み取る。	①富国強兵・殖産興業政策，文明開化の風潮などをもとに，明治維新によって近代国家の基礎が整えられて，人々の生活が大きく変化したことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②明治政府の諸改革の目的に着目して，諸改革が政治や文化や人々の生活に与えた影響を考察したり，明治維新について，近世の政治や社会との違いに着目して，近世から近代への転換のようすを考察したり

	5　節の問いを振り返ろう		分制度の廃止にもかかわらず現実には差別が残ったことに気づかせる。 ③欧米諸国から取り入れた制度や文化の影響で，社会のようすや人々の生活が大きく変化したことに気づかせる。	○新しい政策や欧米の文化は，人々の生活にどのような影響を与えたのか，絵画資料などから読み取ったり考えたりする。 ○「富国強兵」をスローガンとして実施された諸政策の意味や意義に着目して考えさせる。	するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③明治維新と近代国家の形成について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
1	第４節　近代国家への歩み 1 新たな外交と国境の画定 2 沖縄・北海道と「近代化」の波 3 自由と民権を求めて 4 帝国憲法の成果と課題 5　節の問いを振り返ろう	5	①自由民権運動の全国的な広まり，政党の結成，憲法の制定過程とその内容の特徴を取り上げ，大日本帝国憲法の制定によって当時アジアで唯一の立憲制の国家が成立したことをふまえ，立憲制の国家が成立して議会政治が始まったことの歴史上の意義や現代の政治とのつながりに気づかせる。	○新政府は，どのような外交政策を進めたのか，欧米諸国とアジアに対する方針の違いにも着目しながら，地図や資料などから読み取ったり考えたりする。 ○新政府は沖縄や北海道に対してどのような政策を進めていったのか，地図や資料などから読み取ったり考えたりする。 ○人々は意見を政治に反映させるために，どのような活動を展開したのか，地図や地域史の資料などから読み取る。 ○大日本帝国憲法や帝国議会にはどのような特色があるのか，条文を読んだり選挙のようすを調べたりしながら，その特色を考える。 ○不平等条約の改正を欧米諸国に認めさせるという目標を明治政府がもっていたことをふまえ，近代国家を成立させるためのさまざまな条件に着目して考えさせる。	①自由民権運動，大日本帝国憲法の制定をもとに，立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに，日本の国際的な地位が向上したことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②議会政治や政治の展開に着目して，世界との関係や，現代の政治とのつながりを考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③議会政治の始まりについて，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
2	第５節　帝国主義と日本 1 アジアの列強を目指して 2 朝鮮をめぐる対立　日清戦争 3 世界が注目した日露戦争 4　塗り替えられたアジアの地図 5　節の問いを振り返ろう	5	①国内の社会状況や国際情勢とのかかわりなどの背景をふまえて，欧米諸国と対等の外交関係を樹立するための長年の努力の過程で条約改正が実現したことを理解させる。 ②大陸との関係をふまえて，日清・日露戦争にいたるまでの日本の動き，戦争のあらましと国内外の反応，韓国の植民地化などを取り上げ，日本の国際的地位が向上したことを理解させる。	○帝国主義とはどのような動きや考え方か，長年の条約改正への努力のねらいとは何か，なぜ条約改正の一部が実現したのかについて，当時の国際関係などをふまえながら，地図や資料から読み取る。 ○日本と中国との間でどのような対立があり，戦争の結果，日本と中国はそれぞれどのようになったのか，風刺絵の資料や地図などを活用しながら流れ図でまとめる。 ○日本とロシアとの間でどのような対立があり，その結果はどうなったのか，風刺絵の資料や地図などを活用しながら関係図でまとめる。 ○日清・日露戦争後のアジアの人々の意識の変化，韓国や満洲における日本の政策，中華民国の成立の経緯について，資料などから読み取る。 ○条約の具体的な内容やアジアの人々からの視点に着目させて，日本の立場の変化を考えさせる。	①条約改正，日清・日露戦争などをもとに，日本の国際的な地位が向上したことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②外交や戦争の展開に着目して，世界との関係や現代の政治とのつながりを考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③国際社会との関わりについて，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
3	第６節　アジアの強国の光と影 1 近代日本を支えた糸と鉄 2 変わる都市と農村 3 欧米の影響を受けた近代文化 4　節の問いを振り返ろう 5　章の学習を振り返ろう	4	①富国強兵・殖産興業政策の下，製糸業，紡績業や鉄鋼業などの近代産業が日清戦争前後から飛躍的に発展して，資本主義経済の基礎がかたまったこと，都市や農山漁村の生活に大きな変化が生じたことに気づかせる。 ②近代化遺産を取り上げるなど，身近な地域を例としながら，鉄道網の広がりや工業の発達などによって人々の生活の変化がみられた一方で，労働問題や社会問題が発生したことに気づかせる。	○日本の軽工業や重工業はどのように発展していったのか，地図やグラフなどの資料から読み取る。 ○工業化が進むなかで，農村や都市での人々の生活はどのように変化したのか，資料などから読み取り，その理由を考える。 ○明治時代になって，人々の生活や文化はどのように変化したのか，文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。 ○歴史を探ろう（「絹の道」と日本の製糸業）を参考に，重要な輸出品であった生糸の生産を農村が支えたり，輸送のために鉄道が敷設されたりしたことに着目して考えさせる。 ○日本の「近代化」を経済や産業，政治や制度，文化や生活，国際社会という４つの観点ごとに評価し，最も重視したい観点を選んでその理由を説明する。 近代前半とはどのような時代か，自分の言葉で表現したり，意見交換を行ったりする。	①日本の産業革命とこの時期の国民生活の変化，学問・教育・科学・芸術の発展などをもとに，日本で近代産業が発達し，近代文化が形成されたことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②近代化がもたらした文化への影響に着目して，産業の発展が国民生活や文化に与えた影響を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③近代産業の発達と近代文化の形成について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

			③伝統的な文化の上に欧米文化を受容して，日本の近代文化が形成されたことに気づかせる。		